

「雷神スリム」メインに展開

ニユーレジストン社長 山内憲吉氏



当社は砥石メーカーですが、
体で手掛けることで、
研削・研磨・切断の作
業パフォーマンスを最
大化したいと考えてい
る。

タ雷神スリム」を発売した。2017年に廃盤となった雷神の後継機種として開発を進め、本体のスリム化やハイパワーモーターの採用など大幅に進化させた。雷神スリムの発売により、ミニシリーズの活躍の場がさらに増ええると思う。当社製品のメインに据えて展示を開いていきたい。

は、新たに「ミニアルセラックオフセットタイプ」をこのほど発売した。セラミック砥粒の採用により、高い研削力と耐久性を実現している。雷神スリムと組み合わせることで、研削作業を大きく向上できる。今後も、狭あい部の作業で威力を発揮するミニシリーズならではの砥石を開発していく。

化。砥石を会社の礎石として、自社の技術の礎石として、
「一ノ瀬」マイズへと昇進した。如

「バーナー研究部の課題は、電着苦労にこだわるよ」「グラード」

物であります。ヤモリを製造するためだわ。形状カスケードうに空気イン」を

化ツツの率にての事例を紹介する。要がトの事例にての率

統的に
したい
ト・ツ
み合わ
有の難
右の選
の特性
がある
納入事
例をさ
いき、
対応力
率直に

「アーチー、
わせが
難しさ
選定も
上を考
る。当
初の成
績が

う要が、ハ・砥が重要がある。口處する。社はシステムある。積みツトめたて、

望はロボ石ので、る。ボツ
既にテムが、
既に化へ上
既にい。昨年

昨年6月には、**鋳物**の研削に有効な「メタリッジバー」を発売した。鋳物は研削作業がやりにくく、砂嚙みや研削作業を口ボットする上で、ユーダーが迷わず的確な砥石を選べるようにしていただきたい。

研削作業をロボット

こうしたラインアッ
プの拡充に加えて、砥
石の選びやすさも工夫
していく。例えば、当
社ホームページのメイ
ンコンテンツである
「砥石コンシェルジ
ュ」を活用してもらう
ことで、作業内容やワ
ーク材質などの条件か
ら砥石探しをサポート
する。加えて、砥石の
アプリケーションに応
じた最適な粒度を展開
するなど、ラインアッ
プを分かりやすく整備
に応えていきたい。

2割ほど減少する見込
みだ。こうした厳しい
市況ではあるが、ユー
ザーにきめ細かくアプ
ローチすることで、新
製品を中心とした拡販
に努めていく。コンセ
プトは「ユーザーの要
望に応える製品を提供
する」 「用途に合う製
品をわかりやすく選ん
でもうう」の2つ。積
極的な製品開発と丁寧
なラインアップ整備に
取り組み、現場の課題